

○「総合的な学習の時間」

※ 年間時間数とテーマ(内容)

	教科	時間数	テーマ(内容)	
1年	学年総合	35	「自然」や「ものづくり」について考える。	
	教科総合	美術	7.5	美術を通して「自然」を考える。
	教科総合	音楽	7.5	音楽を通して「自然」を考える。
2年	学年総合	70	「働くこと」から学ぶ。	
3年	学年総合	70	「将来の自分」について考える。	

※ 指導計画

1. 総合的な学習の時間に対する基本的な考え

本校では、地域や学校、生徒の実態等に応じて、横断的・総合的な学習や探求的な学習、さらに生徒の興味・関心等に基づく学習など創意工夫を生かした教育を行うものとする。

2. 総合的な学習の時間の「ねらい」

- (1) 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- (2) 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。
- (3) 各教科、道徳及び特別活動で身に付けた知識や技能を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにする。

3. 具体的な学習活動

本校では、上記の示す「ねらい」を踏まえ、福祉・健康、環境、進路等の横断的・総合的な課題、生徒の興味・関心に基づく課題、地域や学校の特色に応じた課題などについて学習活動を行うものとする。

その際には、各教科、道徳及び特別活動と有機的な連携を図ることが重要である。そして、これら学習活動の充実が「総合的な学習の時間」の発展にもつながることを踏まえる必要がある。

4. 学習活動配慮事項

- (1) 自然体験やボランティア活動などの社会体験、観察・実験、見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動など体験的な学習、問題解決的な学習を積極的に取り入れること。
- (2) グループ学習や異年齢集団による学習などの多様な学習形態、地域の人々の協力も得つつ全教師が一体となって指導に当たるなどの指導体制、地域の教材や学習環境の積極的な活用などについて工夫すること。

5. テーマの設定について

本校の校訓に「強く、正しく、明るく」とある。しかし、現状において、この校訓に沿うためには多くの課題がある。そこで「総合的な学習の時間」を通じて、

「自他の生命を大切に、お互いの良さや違いを認め合える生徒」

「他人を思いやり、他者や公共のために奉仕する実践力のある生徒」

「基礎的・基本的な内容を身に付け、学習や生活に生かす生徒」

「自ら課題を見付け、主体的に課題を解決しようと、すすんで学習や諸活動に取り組む生徒」

の育成を目指し、基礎基本を培い、豊かな人間性を育て、将来にわたっての「生きる力」の育成の原動力としたい。

6. 目 標

- (1) 人間やそれを取り巻く社会や自然の諸問題・現実に目を向け、人間の様々な姿を理解し、真の個人主義に基づく自他のあるべき姿を追求する姿勢を持った生徒の育成を図る。
- (2) 人間としての在り方や生き方を求め続けようとする能力・態度の育成を目指し、現実社会の事実を教材として体験学習もあわせて問題解決に迫る。
- (3) 社会の変化とともに生じた21世紀に生きる人間の課題、例えば「情報化」、「国際化」、「環境問題」、「社会福祉に関する諸問題」等を人間理解という視点から総合化し、自然や社会、人間の精神との関わりから自己の生き方を考えさせる。

7. 学年のテーマ

- 1年 「自然」や「ものづくり」について考える
 2年 「働くこと」から学ぶ
 3年 「将来の自分」について考える

※ 1年生「総合的な学習の時間」の年間計画

1. テーマ

自然体験学習やものづくり生産活動体験学習から学ぶ。

2. ねらい

自然体験やものづくり活動体験を通して、生きる力を育てる。

3. 学習内容

一学期	・自然の中でのいろいろな遊びやものづくり体験	・自然を觀賞したり、動物とのふれあい体験を行う。 ・身近な地域の自然の良さにふれる。 ・興味・関心別にものづくり体験活動をする。。
二学期	・社会体験を通してものづくり体験	・和歌山のさまざまな伝統産業について調べる。 ・ものづくり体験を通してものづくりのすばらしさを知る。 ・伝統産業の抱えている課題を知る。 ・体験したことをまとめる。
三学期	・将来の仕事について考える。	・さまざまな職種について知る。 ・働くことの意義を学ぶ。 (進路学習、二年生の職場体験学習につなげる)

※ 2年生「総合的な学習の時間」の年間計画

1. テーマ

「働くこと」から学ぶ。

2. ねらい

職場体験活動を「総合的な学習の時間」の中に位置づけ、以下のことを学ぶ。

- ① 仕事についての心構え、電話のかけ方、言葉遣い、態度などを学ぶ
- ② 職場体験活動を行うことにより、地域で働く人々の仕事に対する思いや仕事の厳しさなどを感じ取る。
- ③ いろいろな仕事について知る。
- ④ 自分の将来の夢や仕事について考える。

3. 学習内容

今までの活動内容本年度の活動計画

月	生徒の活動	職員の活動
1月	前年度の職場体験活動の学年発表を見学	
2月	中学校卒業後の進路について考える	

月	生徒の活動	職員の活動
4月	職場体験活動オリエンテーション①	
5月	職場体験活動オリエンテーション②	事務所への受け入れ確認
5～ 6月	ゲストティーチャーによる講演 PASカードを使って進路適性診断 6グループに分かれてスキル学習	
6月	体験事業所希望調査	
7月	体験事業所希望調査	個人懇談で保護者にプリントを配布 職場体験活動について担任より説明 体験事業所の割り振り
8月		学校職員による職場訪問 ・実習生徒名の報告 ・作業や仕事の内容の把握 ・始業、終了の時間の確認 ・今後の予定の連絡、対応の依頼
9月	体験事業所の発表(決定) 挨拶の仕方・電話のかけ方等の練習 事前訪問の日程確認(職場に電話をする) 事前訪問(準備物、服装、日程等の確認)	
10月	体験活動の実施(各事業所にて) お礼の手紙(礼状)の作成・発送 職場体験活動のまとめ「冊子」の作成	各事業所を分担して巡回 10/31(水)～11/2(金)
11月	「発表資料」の作成	
12月	学年での発表(体育館)	
1月 2月 3月	進路について考える(高校、学科等)	

※ 3年生「総合的な学習の時間」の年間計画

1. テーマ

「将来の自分」について考える

2. ねらい

中学校最後の学年であり、進路決定の学年でもある3年生において、自分たちを取り巻く社会情勢にも目を向け、視野を広く持ちつつ、自らの将来を見つめ、自分の果たせる事柄について考え、実行できることを考える。

3. 学習内容

	学 習 活 動	学 習 内 容
一 学 期	○進路について ・学習方法、学習計画 ・進路についての学習 （就職・各種学校・高等学校について） ・進路希望調査 ・復習テスト ・夏休みの生活設計 ・各高等学校等体験学習	○進路学習 ・自己の進路(就職・進学)を考える ・自己の志望校について知る。 ・自己の目標を持ち、具体的に計画をする。
二 学 期	○修学旅行の取り組み ・和歌山を全国にPRする。 ○進路について ・進路希望調査 ・個人の記録調査	○ふるさと大使事業 ・修学旅行先で和歌山に関するものを紹介できるような物(パンフレットや名刺など)を作成する。 ・修学旅行先で作成した物を活用し、コミュニケーションをとる。 ○進路学習 ・自己の進路について具体的に考え、決定していく準備を行う。
三 学 期	○進路について ・就職活動 ・入試対策	○進路学習 ・各生徒が入試問題を予想し、生徒自身がテストの作成を試みる。 ・面接における質問内容や論文・作文を予想し練習する